

科目番号	1 2 0 8	領域区分	感染制御学領域／滅菌供給管理学領域		
学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数	
1 ・ 2	後期	選択	2	3 0	
授業科目名 (英文)	実践感染制御学Ⅰ【感染制御マネジメント論】 (Advanced practice in infection prevention and control Ⅰ： Management of Infection prevention and control)				
担当教員名	菅原 えりさ				
授業の概要及び到達目標					
○ 概要 本科目では、受講生各自の感染制御活動の経験を軸に、それらを共有し再評価することを試みる。また、機能の異なる医療施設を見学し、幅広い感染制御活動のためのマネジメントを考察する。 ○ 到達目標 ・感染制御における専門職として必要な諸概念、感染制御実践上の課題について探求する。 ・さまざまな場面での感染制御実践に求められる専門職としての役割を再確認できる。					
準 備 学 習 等					
自らの感染制御活動を振り返りマネジメントの視点で考察しておく。					
成績評価の方法	出席・授業への参加状況（40%）、プレゼンテーション・事前準備状況（30%）、課題レポート内容（30%）を総合して評価する。				
テキスト	適宜提示するか資料を配布する。				
参考図書	適宜提示する。				
備 考	ゼミナール方式による授業の展開を行うので、自発的・主体的な学習態度が望まれる。 授業での疑問点は講義中に質問するかメールにて行う。				

授 業 計 画

- 第 1 回 さまざまな場面の感染制御活動について
急性期医療施設、高齢者施設、災害時感染制御活動などを紹介し、課題を共有する。
- 第 2～4 回 施設見学①
急性期医療施設の感染制御体制を学びまた課題を明らかにする。
- 第 5～7 回 施設見学②
高齢者医療施設の感染制御体制を学び課題を明らかにする。
- 第 8～10 回 施設見学③
精神病院の感染制御体制を学び課題を明らかにする。
- 第 11～14 回 施設見学④
身体障害者施設の感染制御体制を学び課題を明らかにする。

*4 回の施設見学後レポートを提出する。
- 第 15 回 まとめ
感染制御マネジメント全体について討論し総括する。